



ロータリー：
変化をもたらす

R I 会長	■	イアン H.S.ライズリー
地区ガバナー	■	永田 壯一
会長	■	吉永 博之
幹事	■	渡邊 太朗
公共イメージ向上・PR委員	■	西嶋 太興
		生

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 30 年 1 月 25 日 No.2373

玉名 RC メールアドレス jimu@tamanarc.org

ホームページ <http://www.tamanarc.org/>

ブリヂストン熊本工場 職場訪問例会

株式会社ブリヂストン熊本工場 熊本県玉名市河崎 600

操業開始 1971 年 10 月 (化工品工場として 2 番目、国内工場として 10 番目に操業開始)

敷地面積 139,000 m²、生產品目ゴムクローラ、高圧ホース、工業用ゴムホースを生産

- 1971 ブリヂストン熊本工場、操業開始
- 1974 25m プール完成
- 1978 第二工場竣工
- 1981 創業 10 周年、厚生会館増築完了
- 1983 玉名産業(株) 現 BSEMK 創立
- 1986 第一回防災団出初式、第二工場増築完了
- 1987 新ボイラー完成
- 1988 第一回納涼祭
- 1989 9 年 3 ヶ月 18 日間休業無災害特別表彰、新事務所棟完成
- 1991 SM ホースを関工場へ生産移管、操業 20 周年
- 1992 製品倉庫増築
- 1998 全品種 ISO9001、ISO14001 認証取得
- 2001 新製品倉庫完成、操業 30 周年
- 2004 特高受変電設備更新
- 2009 大牟田地区物流倉庫完成

2011 「B・フォレスト エコピアの森くまもと in 山鹿」 協定調印

2011 操業40周年

【講師】

(株)ブリヂストン熊本工場 総務・環境保全課課長
吉田広幸 様

熊本工場は1971年に操業を開始した工場です。当初は各種工業用途向けの繊維補強ゴムホースの生産をしていました。その後品種を拡大し、現在は建設機械(ブルドーザー・ショベルカー等)に使用されるワイヤーで補強された高圧ホースやオートマチック自動車のトランスミッション等に使用される自動車用ホース、家庭の温水洗浄便座やシャワーに使用される樹脂ホース等を生産しています。



また農業機械・建設機械に装着されるゴムクローラも生産しています。このゴムクローラはブリヂストンが世界に先駆けてコンバイン(農業機械の一種)用途に開発したのですが、その後ミニショベル等の建設機械用途、他の農業機械用途のゴムクローラが開発され、ホースと共に生産量大し現在に至っています。



○創業者 石橋正二郎 (1889-1976)

「製品の海外輸出のために英語名が通りやすいと
考え私の姓である石橋を英訳し STONE BRIDGE
となるが語呂が悪いので逆さにして、
“BRIDGE STONE” と決定した。

BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ



○ブリヂストンの企業理念には「使命」と「心構え」があります。使命とは時代や働く場所が変わろうともブリヂストンの社員が日々の仕事を通じて果たすべきことです。心構えとは、使命を果たすために、ブリヂストンの社員として常に意識してきたい姿勢を示しています。

○安全防災の徹底と生産性向上への取り組み

熊本工場はブリヂストンの開発力・技術力を活かした高性能・高品質な商品を生産しています。生産においては安全・防災の徹底が不可欠であるとともに生産性向上を図ることが重要となります。そのため熊本工場では、工程・機械の清掃や工具類の定置管理といった地道な取り組みを徹底して行っています。加えて更なる向上を目指して工場で働く人全員が五感を研ぎ澄まし日々提案活動を実践しています。

○環境に配慮した工場を目指して

熊本工場は美しい菊池川の流れると、田園・住宅地に囲まれた豊かな自然の中に立地しています。これらの自然を守るためにも環境保全は極めて重要な位置づけにあります。地域社会との信頼関係を大切にしながら環境汚染を未然に防ぐ体制を強化するとともに「環境にやさしい工場作り」に向けて環境保全レベルの継続的改善に努めています。

環境マネジメントシステム(ISO14001)を通じた環境の継続的改善を基盤に廃棄物発生量の継続的な削減や廃棄物のリユース、リサイクルの推進などにより完全ゼロ・エミッションの定着を図っています。あわせて地球温暖化防止の為、省エネルギー活動の推進によりCO2排出量削減を図っています。また工場や周辺地域の緑化・環境美化を図るボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。



近隣小学校訪問しブリヂストンの環境活動を
紹介し環境に関心を持ってもらう取り組み



玉名大俵まつり協賛



中学高校生を対象に製造工程や設備保全職場で体験学習



足野神社様、月に一度の定期清掃



1975年より続いている学童水泳大会

1989年より続いている玉名市バレーボール協会主催のソフトバレーボール大会



菊池川周辺・花火大会後の工場周辺あと片付け清掃活動

○地域社会の一員として

操業開始して間もない1975年、地域活性化の一環として近隣の小学生を対象とした水泳大会「ブリヂストン杯争奪水泳大会」を開催し、以降毎年8月に開催を続けています。現在では地元根付いた歴史ある大会となっており、毎年約250名の小学生が参加しています。また2011年から山鹿市に

「B・フォレストエコピアの森くまもと in 山鹿」をオープンし森林整備のボランティア活動など通し市民の皆様が親しめる森づくりの推進を図っています。熊本工場は玉名市の主要企業のひとつであり行政・市民ほか地域の方々からの期待も非常に大きいです今後も地域の方々と共存し、良好な関係の継続に努めてまいります

ブリヂストンは、創業の翌年から海外への市場調査とともに輸出を開始するなど早くから世界を目指して事業を展開してきました。今後も技術を磨き品質を追求し、より良い社会を目指して歴史を刻んでいきます。



【出席報告】

本日の出席	会員数	52 (48) 名	欠席者	深見 嫩 本田 廣田 井上 河田 古賀 宮本 村田 前島 前田 西村 野田 志賀 品川 高木 瀧川 浦田 上村 上田継 吉田 山村
	出席数	26 名		
	出席率	54.17%		
前回の出席	前回出席数	39 名	前回のメイクアップ	本田 鶴田 山田司 山田邦
	修正出席数	43 名		
	修正出席率	89.58%		
出席規定適用免除者		7名		

【今後のプログラム予定】

*2/1 (木) 理事会 11:00～
クラブ協議会・次年度委員会

【委員会報告】 村上会員

「馬山中央 RC クラブとの姉妹クラブについて」

1月18日司ホテルにて第1回目委員会を開催しました。アンケートの結果、内容見直しで姉妹クラブの継続を考えるとということでした。政治的にギクシャクしてる今こそ、より民間交流に意義がある、相手を知ることロータリーの国際理解、親善に合致するのでは？そのためにも多くの会員が訪韓や来日の馬山の会員との交流の機会を作る必要などがある等の意見も交わされました。言葉の問題など課題はありますが前向きに考えたいと思います。

次回の委員会では具体的な交流条件などを決めて、今年の3～4月に訪韓したいと思います。委員会終了後事務局で、千蔵先輩より過去の交流実績予算などの取り組み方の検証があり、20年ほど前まで会員1名あたり¥10,000の特別会計を長年続けていたことを知らされ、調べてみましたら確かに毎年予算化されていました。金額は年度により変化していますが、3,000～6,000円/1人が計上、決算されていました。それだけ国際交流（姉妹クラブ）の意識は強い物があったと考えます。それだけに今後無理のない交流へ繋げたいと思います。

